

研究・調査報告書

報告書番号	担当
239	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）	
Alcohol harm and cost at a community level: data from police and health. 地域におけるアルコール関連問題と費用：警察情報と医療情報	
執筆者	
Lesjak MS, McMahon GJ, Zanette L.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Rural Remote Health. 2008 Apr-Jun;8(2):878. Epub 2008 Apr 9.	
キーワード	
アルコール・救急外来・警察事案・早期介入	
要 旨	
<p>はじめに：</p> <p>2006-2009 年オーストラリア国民アルコール作戦によると、地域レベル・救急患者のデータ収集およびデータの統合を進めることにより、アルコールに関連する問題の理解を深めることが推奨されている。我々は遠隔地域調査センターでのアルコール関連障害による救急受診とアルコール関連の警察事案の数を推定する方法を先行研究として検討した。このようなアルコールに関連する警察情報と医療情報を統合の実用性と有益性について検討した。</p> <p>対象と方法：</p> <p>ニューサウスウェールズの西方にあるブローケンヒルズは人口約 20,000 人であり、そのほとんどが市街地内に居住している。ブローケンヒルズ病院はこの地域の基幹病院であり、全患者のコンピュータ化された記録が使用できる。バリア警察がブローケンヒルズにあり、56 の警察署がある。延べ 2 週間に渡って、患者の簡単な問診、看護師の評価、警察署の記録を検討した。</p> <p>結果：</p> <p>病院情報・警察情報の何れもが季節変動を示し、事案数も経費も夏季に倍増していた。602 名の患者中、32 名（5%）は救急外来受診前に飲酒していたとの記録があった。また、765 の警察事案のうち、118 例（5%）がアルコール関連事案であった。これらの 2 つの集団は本質的に関連がないにもかかわらず、その特性は近似していた。主に週末の深夜から早朝の救急症例あるいは警察事案となった半数以上（68%）は 30 歳代男性であった。警察情報、通常の救急外来の情報と救急外来調査を統合することにより、アルコール関連問題のより総合的な実情があきらかになった。</p> <p>結論：</p> <p>今後、更に調査協力とデータの正確さを高めるため、救急外来および警察でプロジェクト担当官を活用することにより、研究が進むと思われる。更に総合的な地域の情報を集めるためには、アルコールに関連する他の施設を含めることが望ましい。季節変動を明らかにするためにはより長期の調査期間が必要である。</p>	